

# まごころだより

2019. 6月号

先日、ボランティアで踊りと三味線の演奏を披露して頂きました。演者の方には忙しくされている中でこの事で非常に感謝しています。普段は生の演奏を視聴する機会が少なく、聞き覚えのある曲などが流れると利用の方の顔も綻んで自然に手拍子を打って口ずさんだりされます。踊りに覚えのある方はたまたま踊り出す方もおられて会場はとても盛り上がりました。毎月ではありませんが利用の方達にはとても楽しんで頂けたと思います。この度の演奏曲の中には随分懐かしいものがありました。“魚津屋気楼節”だったと思いますが曲、節に印象的なフレーズがあってそれが子供の頃の記憶として残っていました。歴史にも残っている魚津の大火。その後多くの人達が復興に力を注いでいる中、少しでも気持ちを明るくという思いで頑張っていこう、貧しくはあったけれど希望を持って生きていこうという時代だったと思います。その頃の町の中心は中央通り、文化町通り、新宿通り、銀座通りで電鉄魚津駅前あたりは人が沢山行き交っていました。母親に手を引かれて出かけるのがとても嬉しかったものです。余談ですが年に数回、富山市にある“大和デパート”に連れて行ってもらう時は正装していきました。食堂でオムライスとプリンを食べた時は世の中にこんなに美味しいものがあつたのかと幼心に大きなショックを受けたのを覚えています。幼かった頃の小さな出来事が“魚津屋気楼節”この曲で記憶が一度によみがえってきました。今やその親世代の人やその子の世代まで介護を必要とする時代になっています。若い人たちにその頃の話をしていても仕方がないことだとは思いますが、親たちは間違いなく子達の為に必死に働いてきた事は決して忘れてはいけないことで、いずれ我が身も老いていく事を知っておかなければならないと思うのです。



先日、飼っている猫に思いっきり噛みつかれました。おかげで噛まれた所がひどく腫れ上がってしまいました。その子に何か悪さや嫌な事をした心当たりがなかったのでしばらく呆然としてしまいました。それでもその不可解な行動に納得がいかず私の行動を振り返って考えてみると、部屋の片づけをしていて要らないと思った物を片っ端からゴミ袋に入れていたところ、家族の物を捨てる捨てないのちょっとした言い争いをした直後だったので、多分いじめているように見えたのかなと思いました。犬猫を飼われている方は思い当たるのではないのでしょうか。特に犬の場合は家族の争う



姿を嫌い、優勢の方に対して唸ったり吠えたり威嚇します。場合によっては噛みつかれることもあります。猫は普段は知らん顔しているようですが、例えば何匹も飼われている場合にはその誰かがどこかに閉じ込められたとします、するとその閉じ込められた所の前に座って鳴き続けます。ここに居るから早く助けてあげてとでも言っている様なのです。性格もあるでしょうが基本的には犬も猫も弱い者にとっても優しい動物なのだと思います。猫は人間とは違い顔の表情筋が少なく喜怒哀楽は体や声でしか表せないだけで、ちゃんと感情を持っているのだと専門家ではないのですが、一緒に暮らしていると何となく解ってきます。こんな動物たちにも人間と一緒に認知症になる子がいるそうです。異常な行動をとったり、昼夜が逆転して大きな声で鳴き出すので家人を困らせますが、その時飼い主はどうするんでしょう。小さなころはしぐさが可愛くて心を癒してくれますが、年

老いるのも早い動物だと承知で飼うはずですが、病気は避けようがないのかも知れませんが、家族になってくれた動物に感謝しなくてははいけません。ちゃんとその恩を返してやらなければならないと思いつつ最期まで一緒にいてやります。



**6月行事の予定**

5日	(水)	小物づくり
7日	(金)	惣菜またはお菓子
12日	(水)	林夫妻の歌謡ショー
15日	(土)	ハーモニカ演奏
17日	(月)	ボランティアのギターと歌の演奏
20日	(木)	ピアノ/伴奏と一緒に唄を
24日	(月)	食事会